

新しい

朝日放課後児童クラブが 完成しました

詳しくは☐保育課

新しい朝日放課後児童クラブが完成し、3月4日に開所式・内覧会が行われました。

以前の朝日放課後児童クラブは、市内の公立放課後児童クラブで唯一、小学校の敷地外にある建物でしたが、今回、朝日小学校内に新築移転したことで、より安心安全で利便性の高いクラブとなりました。

新しい建物は、太陽光発電設備の設置やバリアフリー設計などにより、環境にも、人にもやさしい施設となっています。

また、今回の移転により、定員が50人から80人になりました。



開所式・内覧会の様子



▲木のあたたかみを感じられる保育室



▲太陽光発電設備の確認パネル



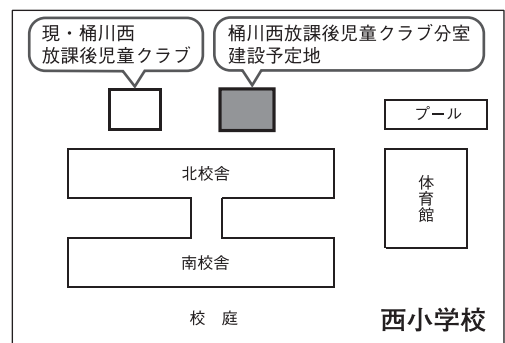
▲多目的トイレ

施設概要

名称	新朝日放課後児童クラブ
住所	朝日二丁目18番26号
延床面積	217.09㎡
面積定員	80人
構造	木造
設置形態	学校内独立施設

今後の放課後児童クラブの計画について

市は、「子どもがのびのびと個性豊かに育ち、育てられるまち」の実現へ向け、今後もさらに放課後児童クラブの充実に取り組む予定です。今年度は、待機児童解消に向け、西小学校内に桶川西放課後児童クラブ分室（仮称）の建設を計画しています。また、公立だけではなく、民営の放課後児童クラブにつきましても、学校法人桶川学園が新たな放課後児童クラブ（定員20人）を開設しました。



いいでまち 山形県飯豊町と

友好都市・災害時応援協定 締結



詳しくは自治文化課



右から
後藤恵一郎飯豊町議会議員、後藤幸平飯豊町長、
小野克典桶川市長、市川幸三桶川市議会議員

このたび桶川市は、平成16年から10年以上に渡って交流を重ねてきた山形県飯豊町と、友好都市・災害時応援協定を締結しました。

桶川市との交流が深い飯豊町中津川地区において、2月25日(土)に調印式が行われ、同日同地区で開催され



た中津川雪まつり会場において、協定締結の報告が行われました。

◀中津川雪まつりで市職員が制作したオケちゃんの雪像



なぜ飯豊町？

飯豊町との交流は、平成16年4月に飯豊町中津川むらづくり協議会の役員が山村留学のPRに桶川市を訪問したことがきっかけで始まりました。

山村留学のほか、桶川市民有志による中津川雪まつりなど飯豊町の各種イベントへの参加や、

毎年11月に桶川市べに花ふるさと館で開催される桶川全国ふるさとまつりへの飯豊町の参加などを通じて交流が続き、このたび友好都市協定締結に至りました(現在、山村留学は中津川小中学校の廃校により実施されていません)。

併せて、桶川市としては7番目となる災害時応援協定を締結しました。



飯豊町ってこんなところ♡

飯豊町は、飯豊連峰から流れる清流白川と緑豊かな山林、田園散居集落など美しい日本の原風景が残る人口約7,400人、面積約330km²の山形県南西部に位置するまちです。

日本の農山村の景観や環境・文化を守る「日本で最も美しい村」連合に加盟しており、地域資源の保護と地域経済の発展を目指し、定住促進など積極的な事業を展開しています。



このような自然豊かな環境を活かして、米沢牛の育成や米の生産などが盛んで、特徴的なものとして「どぶろく」の製造も行っています。

町内4か所では温泉が湧き、それぞれ異なる泉質を楽しむこともできます。

また中津川地区は県内でも有数の豪雪地帯で、例年2mを超える雪が積もります。



飯豊町観光協会
ホームページ

友好都市協定記念プレゼント

桶川市観光協会では、協定締結を記念して、「飯豊町内提携宿泊施設共通利用券(年内有効)」5,000円分(寄贈品)を抽選で4名様にプレゼントします。

※当選者の発表は、利用券の発送をもって代えさせていただきます。

申込み▶はがきに住所・氏名・連絡先(電話番号)を記入のうえ、桶川市観光協会(〒363-0016桶川市寿1-11-19)へ、4月14日(金)【消印有効】までに郵送してください。

総合事業で利用できるサービス

介護予防・生活支援サービス事業の内容

※市町村により異なり、地域の実情に応じ、順次サービスを設けていきます。

平成29年4月から

サービスの種類名称	サービスの内容	費用
訪問型サービス	相当サービス 既存のサービス事業による、これまでの介護予防訪問介護に相当するサービス 例) 食事、入浴介助などの「身体介護」 掃除、洗濯、調理などの「生活支援」	現在の要支援の人が利用している訪問介護サービスと同等
	訪問型サービスA 市が定める基準により行われる訪問介護サービス 例) 掃除、洗濯、調理などの「生活支援」	現在の要支援の人が利用している訪問介護サービスのおおむね9割程度
通所型サービス	相当サービス 既存のサービス事業による、これまでの介護予防通所介護に相当するサービス 例) 施設などで、入浴、食事、機能訓練などを受ける、通いのサービス	現在の要支援の人が利用している訪問介護サービスと同等
	通所型サービスA 市が定める基準により行われる通所介護サービス 例) 施設などで、レクリエーション活動や集団体操などを受ける、通いのサービス	現在の要支援の人が利用している訪問介護サービスのおおむね9割程度

一般介護予防事業の内容

- 健康長寿いきいきポイント事業
- 転ばん！運転教室
- 脳げんき教室
- 出前介護予防講座
- 地域包括支援センターの介護予防教室

介護予防のきっかけとして、ぜひ参加してください。



「生活支援サポーター養成研修」のご案内

この研修を受け、基準が緩和された事業所に所属することで、訪問型サービスAの「生活支援」を提供するサポーターとなることができます。

とき▶5月16日(火)・17日(水)・18日(木)の3日間

対象▶生活支援サポーターとして活動する意欲がある人(全日程参加できる人)

定員▶30人【先着順】 費用▶無料

申込み▶4月10日(月)から、高齢介護課へ申し込みください。

内容▶

	講座	内容
1日目	開講式・受講ガイダンス	研修の目的・ねらい
	市の高齢者施策(講義)	介護保険制度、高齢者施策、総合事業、個人情報の取り扱いなどについて
2日目	高齢者の健康と安全のための知識・技術(講義)	高齢者の疾患・介護などについて
	認知症高齢者への対応(講義)	認知症サポーター養成講座
3日目	実習	実習(調理)
	演習	サービス提供の際の注意事項など
	閉講式	

介護予防・日常生活支援事業(総合事業)を利用して自立した生活を続けましょう!

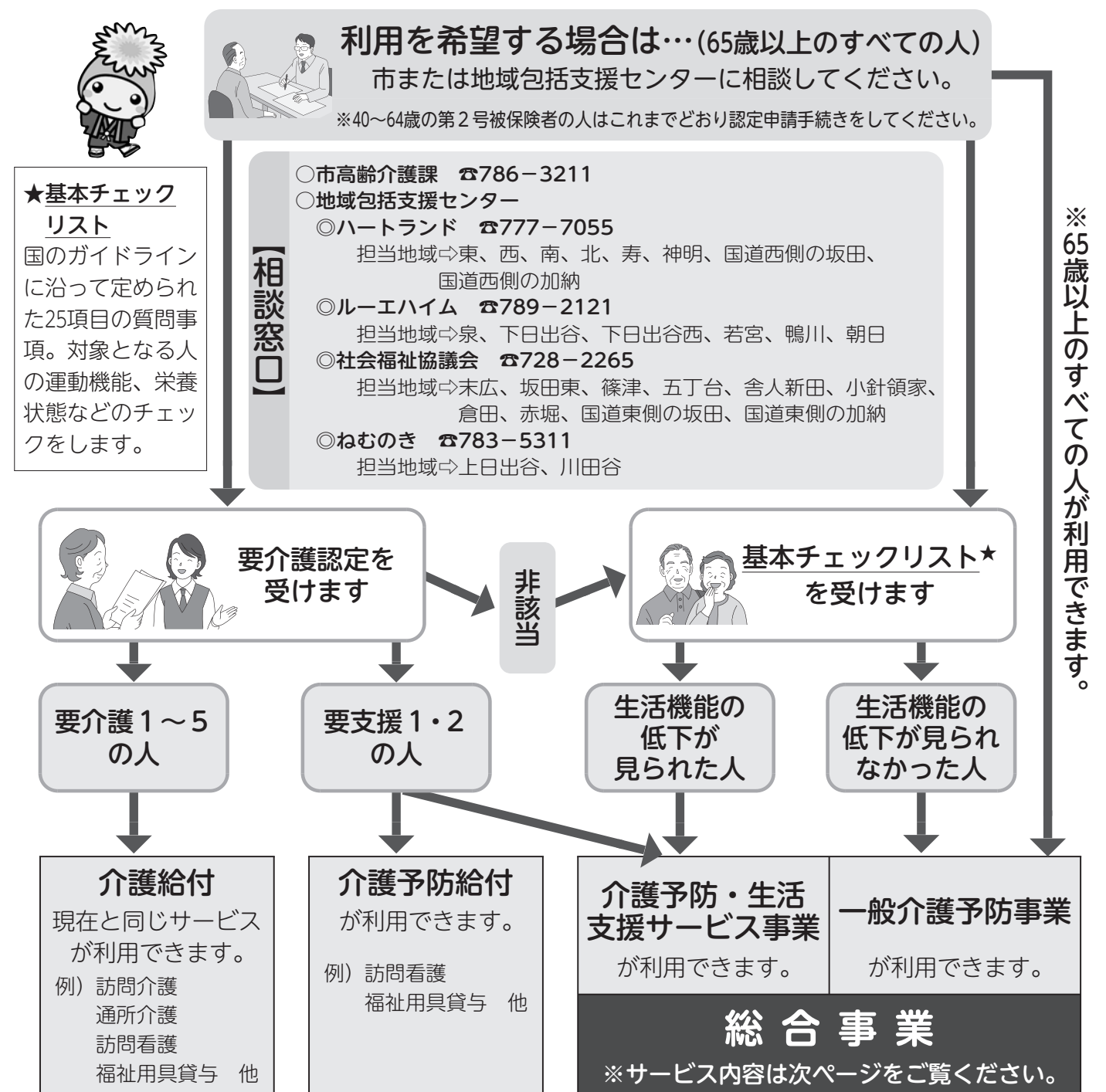
～新しい介護予防・日常生活支援総合事業がはじまりました～

平成27年の介護保険法の改正に伴い、市でも平成29年4月から新しい介護予防・日常生活支援総合事業(以下、総合事業)を開始します。

総合事業ってなに?

65歳以上のすべての人を対象として、市が中心となって実施する、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるための支援を行う事業です。

総合事業 利用までの流れ



桶川 じゃらん 発行しました！



今話題の「カツ丼じろシキ」も載ってるよー

ワークショップに参加したほぞやりさ 細谷莉沙さん

桶川じゃらん誕生のひみつ

桶川の魅力を掘り起こし、たくさんの人にも知ってもらうためにはどうしたらいいか？ そのために観光ニーズ調査（GAP 調査）や市民のみなさんとのワークショップを行いました。見えてきたのは「桶川ってスゴイ！」というキーワード。



ワークショップの様子

私たちのアイデアも取り入れられました。



ワークショップに参加したしみずもか 清水萌香さん



■観光ニーズ調査（GAP 調査）とは…

地域の観光資源について、「認知度」と「興味度」を把握、そのギャップを明らかにし、プロモーション展開の方向性を明確化できる調査。観光施策の優先順位付けや効果的な広告展開が設定できる。

【調査概要】

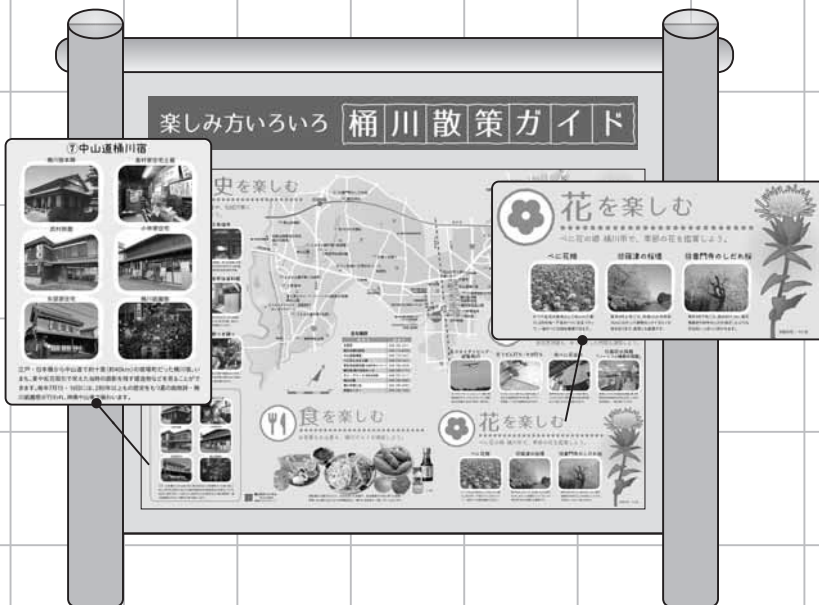
- (1)調査形式 1000サンプル、10問
- (2)調査対象 5エリア程度×年代×性別

出典：じゃらんリサーチセンター

市内での入手情報

市内の公共施設、観光協会、商工会、一部の飲食店や商店などで無料配布しています(市ホームページからデジタルブックでもご覧いただけます)。

駅西口の観光案内板もリニューアル！



YouTube チャンネルも開局！

開局を記念して人気の YouTuber が若者目線で観光ルートを掘り起こした動画を投稿しました。



担当者コメント

「市民のみなさんにもっと地元の魅力を伝えたい！」「桶川を訪れる人にまちの楽しさを知ってほしい！」制作に携わってくれたみなさんの、熱い想いが詰まった観光ガイドができました。これをきっかけに、桶川市をもっと広くアピールしていきたいと思えます。

じゃらんのアプリ「週刊じゃらん」でも桶川市を特集しています。

トップページ → 関東東北のページ →

「PR 企画」スゴイ！おかげがわワンデートリップ

※スマートフォンなどからアプリをダウンロードする必要があります。5/25頃まで掲載。

